

令和3年度（小田原東高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	公務の内外に拘らず、信用失墜行為の防止を心掛け行動する。	4回の研修会を実施する中で、「神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針」を配付して、コンプライアンス意識を醸成した。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等のない学校、職場を実現する）の防止	パワハラ、セクハラ、マタハラ等のない学校、職場を実現する。	朝の打合せや職員会議において、新聞記事等を活用してハラスメント防止について周知し、ハラスメントの未然防止に努めた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ、セクハラ等のない、生徒にとって安心かつ安全な学校を実現する。	研修用映像等を活用し、2回の職場討議を含めて8回の研修会を行い、教育公務員としての意識を高め、共通理解を深めた。
体罰、不適切な指導の防止	基本的人権の尊重の精神に基づき、体罰や不適切指導のない学校を実現する。	生徒及び職員に対してアンケートを実施して不適切な指導の有無を確認するとともに、研修用資料を活用して生徒の基本的人権の尊重について共通理解を深めた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理、調査書発行に係る不適正事案のない学校を実現する。	入学者選抜における事故を未然に防止するために、全職員によるマニュアルの確認や、採点及び面接に関する研修会を行った。また、成績処理については、ダブルチェックを心がけ、事故防止に努めた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適切な管理に努め、日常的な管理の徹底と事故防止を図る。	成績処理における答案用紙やシュレッダーの利用、教務手帳の取扱いについて周知して事故防止に努めた。また、生徒の連絡先等の収集については年度当初に所定の手続きを踏まえるように周知した。
交通事故の防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	生徒に交通安全教育を行う立場として、自ら交通違反、交通事故を起こさない。	行政課発出の「不祥事防止職員啓発・点検資料」を活用して交通法規の遵守について職員に周知するとともに、年末等に飲酒運転については周知の徹底を図った。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	コンプライアンス（法令遵守）に基づいて、適正かつ円滑な業務執行を行い、働き方改革を進める。	行政課発出の「不祥事防止職員啓発・点検資料」等を活用して研修会を実施するとともに、特に成績処理等の個人情報の取扱いについてはダブルチェックによる業務執行を徹底した。
財務事務等の適正執行	私費会計基準に則った私費会計の適切で円滑な執行に努める。	年2回のPTAによる監査を適切に実施するとともに、財務事務調査指導における指導事項については紙面により職員会議にて報告し、円滑に執行するように周知した。

○ 令和3年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和4年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

不祥事防止については、朝の打合せ、職員会議及び研修会をとおして、日ごろから継続的に意識の向上を図ってきており、不祥事等を未然に防ぐことができた。今後も、この姿勢を継続することが重要である。また、「報告・連絡・相談」を徹底して不祥事の未然防止に努め、風通しの良い職場づくりができるように取組を推進していく。